

【様式 2】

平成 13 年度授業実践結果

学校名：恵那市立大井小学校

授 業 者 等	授業日	平成14年2月28日	学 年	第4学年
	授業者	渡辺 亜紀	教 科	社会科
	校 種	小	単 元	雪国の暮らし
	ねらい	情報機器を使って、雪国の小学生と雪に対する工夫や思いについて交流し、自分たちの生活との違いを感じることができる。		
授 業 の 流 れ	1. 目当ての確認 ・ 相手校から何を学びたいのか。 ・ 発表や対応の時の話し方について確認する。 （ていねいな言葉づかい、お礼、ゆっくり、はっきり、相手の対応を待って、相手の意図をつかんで） ・ 話を聞く姿勢を確認する。			
	2. 相手校に挨拶をする。(テレビ会議開始) 司会者の挨拶、学校、学級紹介、天気(外の様子)・気温の確認 3. 石坂小学校の挨拶 4. 質問事項 ①雪国で楽しいこと、うれしいことはなんですか。 ②雪に備えて、どんな工夫をしていますか。 ③その他 5. 交流の感想 ・ 勉強になったこと、テレビ会議システムを使った授業の感想などを交流する。 6. 交流のお礼と挨拶 ・ 司会者が相手校に対してお礼を言い、退席の挨拶をする。(テレビ会議終了) 7. 本時の感想 ・ 交流を通しての感想や本時のめあての反省を行う。			
考 察	● 初めてテレビ会議をするという事で、子どもが興味関心を持って準備や運営に取り組めた事が良かった。 ● テレビ会議システムを使った一番のメリットである「リアルタイムの様子や動き」の良さをもっと取り込んでいく必要がある。 ● 物や写真などの実物を見せて、目と耳から伝わる交流にしたい。 ● 光のあたり具合を考慮して、子どもの立ち位置を事前に確認する。 ● 映像と音声が多少ずれてくるので、「ゆっくり・はっきり」の話し方を訓練する必要がある。 ● 交流を深めるためには、話が聞こえなかったりわからなかった時には「聞こえませんか」「もう一度言ってください」と言える姿勢を育てたい。 ● 教師が一人でカメラ操作や司会の子どもの指導、質問や応答の援助をするのは大変だった。			

※ I T 活用が分かるように記述願います。